

イノブタの母豚の品種の違いによる発育特性

[要約] イノシシ雄を大ヨークシャー種雌と交配したイノブタ (WBo) とデュロック種雌に交配したイノブタ (DBo) では、飼料要求率はWBoの90kg出荷が優れ、1日平均増体量はDBoが90kg、105kg出荷とも優れている。ロース断面積はWBoが90kg、105kg共に優れている。

畜産研究所・中小家畜部・養豚研究室					連絡先	092-922-4100	
部会名	畜産	専門	飼育管理	対象	家畜類	分類	指導

[背景・ねらい]

最近の養豚経営では、消費者の高品質志向に応えるため、銘柄豚の生産が盛んに行われ、産地間競争が激しくなっている。このような中で、中山間地の農家では、肉質に特徴を持つイノシシを利用した新しい地域特産品としてのイノブタ生産が期待できる。そこで、生産性の優れたイノブタを生産するために、イノシシを交配する雌豚の品種および出荷体重の違いと発育特性の関係について明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 WBoでは、出荷体重90kgが105kgに比べて雌雄平均肥育期間は24日間短く、飼料要求率は優れている。1日平均増体量、ロース断面積には出荷体重の違いによる差はない(表1)。
- 2 DBoでは、出荷体重90kgが105kgに比べて雌雄平均肥育期間は32日間短く、飼料要求率はやや優れている。1日平均増体量には大きな差はない(表2)。
- 3 交配品種による比較では、飼料要求率はWBoが出荷体重90kgで優れているが105kgにおいては差がない。1日平均増体量はDBoが90kg、105kgともに優れている。ロース断面積はWBoが90kg、105kg共に優れている(表1、2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 イノブタ飼育管理のための指針作成に活用する。

[具体的データ]

表1 出荷体重の違いによる大ヨークシャー×イノシシの発育特性（平成8年）

出荷 体重	性	と殺 日齢	肥育 期間	飼 料 要求率	1日平均 増体量	ロース 断面積	部位別重量割合			
							赤肉	脂肪	骨	皮
90kg	雄	187	98	—	582	20.5	49.8	32.4	11.1	6.9
	雌	222	133	—	430	20.3	50.9	31.4	10.4	7.4
平均		205	116	3.53	506	20.4	50.3	31.9	10.7	7.1
105kg	雄	215	126	—	552	21.6	51.3	31.4	10.1	7.3
	雌	243	154	—	461	22.1	55.6	30.1	8.3	6.8
平均		229	140	4.36	507	21.9	53.4	30.8	9.2	7.0

注) ①供試頭数：各区雌雄2頭ずつの混飼。

②体重30kgより肥育開始、肥育期間は豚産肉能力検定飼料（DCP12.7%、TDN74.5%）を給与。

表2 出荷体重の違いによるデュロック×イノシシの発育特性（平成9年）

出荷 体重	性	と殺 日齢	肥育 期間	飼 料 要求率	1日平均 増体量	ロース 断面積	部位別重量割合			
							赤肉	脂肪	骨	皮
90kg	雄	183	100	4.04	632	16.5	51.3	30.4	9.8	7.9
	雌	208	125	4.50	499	18.7	49.9	31.9	9.6	8.0
平均		196	113	4.27	566	17.6	50.6	31.2	9.7	8.0
105kg	雄	208	125	4.18	628	18.7	52.2	30.0	9.4	7.8
	雌	248	165	4.64	470	18.6	51.3	31.2	8.4	7.0
平均		228	145	4.41	549	18.7	51.8	30.6	9.9	7.4

注) ①供試頭数：各区雌雄4頭ずつの別飼。

②体重30kgより肥育開始、肥育期間は豚産肉能力検定飼料（DCP12.7%、TDN74.5%）を給与。

[その他]

研究課題名：イノブタの生産及び飼養管理技術

予算区分：経常

研究期間：平成9年度（平成7～10年）

研究担当者：村上徹哉，山本英二，大和碩哉

発表論文等：平成9年度畜産関係試験成績書